

# 学習支援事業（小学校）

[227]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0101	実施計画
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	学力の定着	担当	教育委員会事務局 教育行政課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	小学生	手段(事務事業の内容、やり方、手順)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の授業等で使用する副読本を公費で購入し児童に給付する。(平成30年度:健康手帳、しぜんともだち、かがやく大愛知、観察と実験、夏休み日誌、冬休み日誌)</li> <li>・小学校の社会科授業として行われる高蔵寺浄水場等の見学のためのバスを公費で借上げて実施する。</li> <li>・総合的な学習の時間の授業を展開していくために必要な、講師謝礼の費用を支援する。</li> </ul> 内容:環境教育、福祉、郷土芸能、国際理解など 謝礼:各校に一任 <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国語活動にALTを派遣する。授業は担任教諭の指示により実施する。派遣人数 6人(H30 3・4年生の外国語活動、5・6年生の外国語科の先行実施のため1人増員)週2~3日/校 6時間/日</li> </ul> 平成29年度から 22-0106 英会話授業支援事業(小学校)を事業統合
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	副読本の活用や社会見学を通して、より授業に興味をもつ児童が増えている。学校が総合的な学習の時間の授業が展開し易くなり、児童がより総合的な学力を身につけることができる。外国語活動において、ネイティブの発音に慣れ親しむ。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	購入副読本等種類	種	7	7	6	6
	バス借上げ台数	台	9	9	12	10
成果指標	授業に副読本等を利用した割合	%	100	100	100	100
	バスを利用した学校の割合	%	100	100	100	100
事業費 計			6,663	11,919	19,588	17,758
財源内訳		ア 国				
		イ 県			136	136
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		6,663	11,919	19,452

## H30年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 順調 <b>【成果指標の状況】</b> 維持・横ばい <b>【成果向上余地】</b> 余地が小さい・なし	(状況) 副読本の活用や社会見学を通して、より授業に興味をもつ児童が増えている。
--------	--	---

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 学習支援事業（中学校）

[228]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0102	実施計画
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	学力の定着	担当	教育委員会事務局 教育行政課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	中学生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の授業等で使用する副読本を公費で購入し生徒に給付する。 (平成30年度 明るい人生、健康手帳、図説中学校体育、サマーライフ、ウインターライフ)</li> <li>・H20からはばたく中学生を廃止</li> <li>・平成27年度は教科書改訂により社会科副読本「尾張旭」を編集印刷した。次回は令和3年度に改定</li> <li>・総合的な学習の時間の授業を展開していくために必要な、講師の謝礼費用を支援する。</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>内容：環境教育、福祉実践、伝統工芸品実践体験</li> <li>講師：講師謝礼は各校に一任</li> </ul>
	副読本の活用により興味を持つ生徒が増えている。学校が総合的な学習の時間の授業を展開しやすくなり、生徒がより総合的な学力を身につけることができる。外国語科において、ネイティブの発音に慣れ親しむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の授業にALTを派遣する。授業は教職員の指示により実施する。</li> <li>派遣人数 3人 週2日/校 6時間/日</li> <li>平成29年度から 22-0103 英会話授業支援事業(中学校)を事業統合</li> </ul>

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	購入副読本種類	種	6	5	5	5
成果指標	副読本等を授業で利用した割合	%	100	100	100	100
事業費 計			2,776	6,265	6,334	6,137
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県	110	110	110	110
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	2,666	6,155	6,224	6,027

## H30年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 順調 <b>【成果指標の状況】</b> 維持・横ばい <b>【成果向上余地】</b> 余地が小さい・なし	(状況) 副読本の活用により興味を持つ生徒が増えている。
--------	--	---------------------------------

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 少人数指導授業推進事業

[1076]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0201	実施計画
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	個に応じたきめ細かな指導の充実	担当	教育委員会事務局 教育行政課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	児童・生徒に対して、少人数教育(少人数指導・少人数数学級)を行う。	平成17・18年度の市研究事業として実施した「個に応じた時間の創出支援事業」の結果を受け、児童生徒の基礎学力の定着を目指し、個に応じた指導を実施するため市費で教職員を加配し少人数指導に取り組む。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>&lt;少人数指導に係る指導教員等の配置基準(原則実施)&gt;</p> <p>1 対象学年 小学校3~6年 中学校全学年</p> <p>2 対象教科 小学校 算数 中学校 数学</p> <p>&lt;方法&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市内小中学校全校で実施している少人数指導を、より推進していくために、市単独加配教職員を充て取組む。</li> </ul> <p>H27 8名、H28 10人、H29 10人、H30 8人(外国語活動対応の2人を、英語教育指導補助員として学習活動支援事業に移した)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各校への教職員の配置は、県費教職員の配置等の決定を受けた後に決める。</li> </ul>
少人数指導を受けることにより、基礎基本が定着している。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	市単独加配少人数指導時間数	時間	8,913	9,364	9,800	7,583.5
成果指標	少人数加配の教職員数	人	42	35	40	39
事業費 計			19,065	19,501	16,626	16,115
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	19,065	19,501	16,626

## H30年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	(状況) 個に応じた指導を実施することができ、基礎学力の定着を図っている。
--------	--	--

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	少人数指導授業の拡大については、本市の実情に合わせて検討します。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
本市の実情に合わせて検討し、少人数指導授業を行いました。			

# 特別支援教育支援事業

[255]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0202	実施計画
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	個に応じたきめ細かな指導の充実	担当	教育委員会事務局 教育行政課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	児童生徒 教職員  意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>適正な教育支援を行うことにより、障がいのある児童生徒が個々の教育ニーズに応じた教育を受けることができる。</li> <li>教育支援委員会を開催し、児童生徒の適正な就学及び教育支援を図る。その際に教育支援委員に報酬を支払う。(校長会代表、教頭会代表、教職員、学校保健会長、瀬戸旭医師会代表、保護者代表、学識経験者の計13人で構成。年2回開催。)</li> <li>特別支援学級交流運営委員会の運営にかかる消耗品費、自動車借上料を負担し、特別支援学級の交流事業の実施を支援する。&lt;事業内容：ピクニック、運動会、持久走大会&gt;</li> <li>瀬戸市立瀬戸特別支援学校へ入学する際の市負担金</li> <li>支援が必要な子どもの補助を行うため、金城学院大学と協定を締結し、学生を各小学校に派遣する。</li> </ul>

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	瀬戸市立瀬戸特別支援学校への市負担金	千円	25,721	26,928	28,828	28,828	
成果指標	瀬戸市立瀬戸特別支援学校への入学者数	人	13	11	11	10	
事業費 計			26,471	27,783	29,580	29,495	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般	千円	26,471	27,783	29,580	29,495

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 なし	(状況) 特別な支援を必要とする児童生徒が、個々の状況に応じた教育を受けられるように支援している。
--------	--	--

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	瀬戸市立瀬戸特別支援学校の負担金については、負担割合について引き続き調整を行います。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
瀬戸市立瀬戸特別支援学校の負担金については、負担割合について引き続き調整を行います。			

# 学校生活支援員等派遣事業

[230]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0203	実施計画
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	個に応じたきめ細かな指導の充実	担当	教育委員会事務局 教育行政課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	・市内小中学校で授業進行上支援が必要な学級 ・小中学校の全学級	学校内の生活や学習について、特別な配慮を必要とする児童生徒の生活支援や学習支援等及び体験学習、調査活動等の指導補助をするため、生活支援員等を配置する。 体制：生活支援員等 13人 勤務：週5日 運用：校長に運用を任す(基本は2パターン) ・学級(特別支援学級含む)で固定的運用 ・各クラスの支援体制としてクラスを固定しない 肢体不自由児が安心して学校内で生活及び学習ができるように介助員を配置する。 体制：介助員数 H29 8人勤務：旭中学校(1人)東中学校(2人)東栄小学校(5人)に週5日 H30 10人勤務：旭中学校(1人)東中学校(2人)東栄小学校(7人)に週5日
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

特別な配慮を必要とする児童生徒を指導・支援することにより、学級での授業(学習・体験活動)進行を円滑に行うことができている。

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	支援員等の配置人数	人	21	21	22	25
	活動時間数	時間	18,769	18,624	23,700	23,928
成果指標	支援により授業進行がスムーズになったと思う担任の割合	%	100	100	100	100
	補助員の配置割合	%	78	75	78	86
事業費 計			20,259	23,200	26,050	25,288
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	20,259	23,200	26,050

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 学校生活支援員、学校生活補助員の配置により、特別な配慮を必要とする児童生徒への学習支援等が行えるとともに、担任がよりよい学級経営をするための大きな助けとなっている。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が中程度	

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	支援員等の処遇改善を検討します。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

介助員の賃金について検討したが、学校生活支援員等の処遇改善とあわせて、会計年度任用職員制度構築の際に検討します。

# 特色ある学校づくり推進事業

[244]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0301	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	03	特色ある学校づくりの推進	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市内小中学校	<p>各学校で地域の特性及び創意工夫を活かし、特色ある学校づくりに向けて事業を実施するために、次の支援を行う。</p> <p>&lt;特色ある学校づくりの例&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本伝統音楽の伝承、読書活動、学力向上に向けた取組み、ピオトープでの活動など各校が独自に実施している。</li> <li>・フラワーブラボーコンクールの花壇づくりの支援、審査、表彰</li> </ul> <p>(市内全小中学校実施のため、花壇づくり用消耗品は学校配当予算へH19より編入)</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

学校が地域や児童生徒の特徴にあった教育を進めることにより、児童生徒がより自分の個性にあった教育を受けることができている。

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	特色ある学校づくりの実施学校数	校	12	12	12	12
	各学校が行う特色ある学校づくりにかかる総事業費	千円	1,062	1,062	1,222	1,099
成果指標	実施校の割合	%	100	100	100	100
	特色ある学校づくりに要する費用の支援割合	%	100	100	100	100
事業費 計			1,062	1,062	1,222	1,099
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	1,062	1,062	1,222

## H30年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況)</p> <p>各学校が創意工夫し、特色ある教育、特色ある学校づくりができるよう、支援ができている。</p>
--------	---	---

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 教職員研修・研究推進事業

[245]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0401	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	04	教職員の資質向上	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	教職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>各職域(校長、教頭、事務職員)が資質向上のために加盟している上部団体等の会費を負担する。</li> <li>教職員の資質向上のための研究を教職員で組織されている尾張旭市現職研修委員会に委託し実施。</li> <li>各学校に大学教授等を講師とし、学習指導等について実践的な研修を行い、教員の授業力向上を図る。(H23~)</li> <li>教師用の教科書・指導書及び準拠教材を公費で購入し、給付する。基本は4年毎に改訂(次回:小学校R2年度、中学校R3年度)</li> <li>社会見学、遠足、修学旅行及びその他学校行事(下見を含む)で、児童生徒の監督・安全指導等に必要な引率者にかかる施設等の入場料を公費で負担する。</li> <li>教育活動を支援していくために、教育研究員(嘱託員3人(H22~)、週4日勤務)が調査・研究、教職員の研修、相談・指導、教育関係情報の収集・管理、ボランティア活動支援事業を行う。</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>教職員が各種大会、研修会等に参加し情報収集をし、資質向上を図っている。教職員に必要な教科書・指導書を給付し、円滑な教育を実施できる。本市の教育を推進するため、教育及び研究活動の相談・指導が充実している。</p>

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	補助団体数	団体	3	3	3	3
	支援事業費	千円	22,766	7,978	14,442	13,822
成果指標	補助対象となっている大会、研修等に参加した回数	回	80	80	80	80
	委託事業の対象となっている大会、研修等に参加した回数	回	170	789	190	191
事業費 計			22,766	7,978	14,442	13,822
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	22,766	7,978	14,442

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 教職員の資質向上に資する各種研修事業を実施している。各校に招聘したスーパーバイザーから、各校が年度当初に掲げた教育課題に対して指導等を受けるなど、実践的な研修に取り組むことができている。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 教職員健康管理事業

[246]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0402	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	04	教職員の資質向上	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	教職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校医(内科医)により健康診断を実施。学校保健安全法により定められている健康診断を実施している。結核(全教職員)、検尿(全教職員)、生活習慣病(35歳以上の教職員)</li> <li>・校長が必要と認める健康面でのリスクのある市内小中学校の教職員を対象として、医師による健康相談面接を実施する。</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員配置数が50人を超える旭中学校・東中学校・西中学校に、労働安全衛生法に基づく産業医を配置する。</li> <li>・教職員を対象にストレスチェックを実施(H28から)</li> </ul>

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	健康診断を受けた人数	人	388	389	395	396
成果指標						
事業費 計			4,254	4,222	4,385	4,757
財源内訳	ア 国	千円				
	イ 県					
	ウ 地方債					
	エ その他					
	オ 一般		4,254	4,222	4,385	4,757

## H30年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 順調 <b>【成果指標の状況】</b> 未設定 <b>【成果向上余地】</b> 未設定	
--------	---	--

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-



# 教育ネットワーク整備事業

[241]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0501	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	教育委員会事務局 学校 教職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会事務局と各小中学校を結ぶセキュリティ対策が施されたネットワークを整備し、情報の共有化、文書の交換等を行う。</li> <li>・掲示板、書庫、備品管理、在籍数管理及び水道ガス使用量管理学校事務の効率化を図るため、校務支援システムを活用する。</li> <li>・IP電話等の運用によるネットワークの高度利用を図る。</li> <li>・バックアップの一括実施、ファイルアクセス権限の設定等のため、共有ファイルサーバーを設置し活用する。</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
学校運営及び市教委・学校間の連絡を円滑に実施できている。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	市教委・学校間ネットワーク機器の借上料	千円	20,952	23,320	23,320	23,320
成果指標	グループウェアへのアクセス件数	件	4,578	3,988	5,000	3,977
事業費 計			27,704	30,046	49,047	36,098
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		27,704	30,046	49,047

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) グループウェアのアクセス件数のH29実績と比べ、0.3%低下している。 (原因) 1日に複数回起動しなくなったためと考えられる。
	【成果指標の状況】 低下	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	平成31年度の導入に向け、校務支援システム等の選定等に着手します。 教育ネットワークの整備、運用等について、情報課との連携を強化します。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	校務支援システム等の選定により契約の相手方を決め、校務支援システムは平成31年4月から、教育ネットワークは平成31年9月からの稼働にむけ構築を進めた。 情報課と連携を密にし、教育ネットワークの整備、運用等について助言をいただいた。		

# 情報化教育環境整備事業（小学校）

[242]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0502	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	児童、教職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータ教室における児童一人一台の整備及び、職員室における教職員1人1台の整備を完了しており、積極的な活用が可能な環境整備を図る。</li> <li>・タブレット型PCや電子黒板等の情報機器の利用について、教職員の意向を反映した上で機器の導入を行うとともに、利用しやすい環境整備を図る。</li> <li>・パソコンの利用、整備等については、教職員で構成したICT委員会で検討する。</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>&lt;整備状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン教室児童用PC 1校40台</li> <li>・電子黒板 1校2台</li> <li>・実物投影機 1クラス1台</li> <li>・普通教室用PC 1クラス1台(リースアップ機器)</li> <li>・普通教室用プラズマモニタ 1クラス1台</li> <li>・職員室教職員用PC 1人1台</li> </ul>
児童がパソコン等により分かりやすく楽しい授業を受けている。教職員が、コンピュータを活用して、効率的な事務を行うための環境が整備されている。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	パソコンを一定基準で操作できる教員割合	%	100	100	100	100	
	教職員への情報機器の整備割合(PC配付台数/教職員数)	%	100	100	100	100	
成果指標	PC教室のコンピュータ端末整備割合	%	100	100	100	100	
指標・事業費	事業費 計		39,732	37,586	37,048	37,046	
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		39,732	37,586	37,048	37,046

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) PC教室のコンピュータ端末整備割合のH28実績と比べ、同水準で推移している。 (原因) PC教室の整備による。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む) 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	機器等の整備、運用等について、情報課との連携を強化し、コスト縮減を図ります。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
平成31年9月の可動式PCの導入に向け、情報課と連携し、本市にふさわしい整備に向けて情報を共有した。			

# 情報化教育環境整備事業（中学校）

[243]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0503	実施計画
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 教育行政課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	生徒、教職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンピュータ教室における生徒一人一台の整備及び、職員室における教職員1人1台の整備を完了しており、積極的な活用が可能な環境整備を図る。</li> <li>・タブレット型PCや電子黒板等の情報機器の利用について、教職員の意向を反映した上で機器の導入を行うとともに、利用しやすい環境整備を図る。</li> <li>・パソコンの利用、整備等については、教職員で構成したICT委員会で検討する。</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>&lt;整備状況&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコン教室生徒用PC 1校40台</li> <li>・電子黒板 1校2台</li> <li>・実物投影機 1校5台</li> <li>・短焦点プロジェクタ 1校5台</li> <li>・生徒用タブレットPC 1校20台</li> <li>・教師用タブレットPC 1校5台</li> <li>・職員室教職員用PC 1人1台</li> </ul>
生徒がパソコン等により分かりやすく楽しい授業を受けている。教職員が、コンピュータを活用して、効率的な事務を行うための環境が整備されている。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	パソコンを一定基準で操作できる教員割合	%	100	100	100	100
	教職員への情報機器の整備割合(PC配付台数/教職員数)	%	100	100	100	100
成果指標	PC教室のコンピュータ端末整備割合	%	100	100	100	100
事業費 計			17,041	12,347	12,348	12,347
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		17,041	12,347	12,348

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) PC教室のコンピュータ端末整備割合のH28実績と比べ、同水準で推移している。
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)	
	【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(原因) PC教室の整備による。

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	機器等の整備、運用等について、情報課との連携を強化し、コスト縮減を図ります。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
平成31年9月の可動式PCの導入に向け、情報課と連携し、本市にふさわしい整備に向けて情報を共有した。			

# 小学校用務・給食配膳事業

[263]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業 コード	22-0504	実施 計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	評価対象外	総合 戦略	
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各小学校に学校用務員、給食配膳員を配置する。</li> <li>給食配膳業務として、給食の配膳、配膳室等の清掃を行う。 (衛生管理上、月2回の腸内細菌検査を実施)</li> <li>学校用務員業務として、校内環境の美化、文書の集配等を行う。</li> </ul>

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動 指標						
成果 指標						
事業費 計			15,521	17,283	20,201	17,816
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	15,521	17,283	20,201

## H30年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 未設定 <b>【成果指標の状況】</b> 未設定 <b>【成果向上余地】</b> 未設定	
--------	--	--

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

# 中学校用務・給食配膳事業

[264]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業 コード	22-0505	実施 計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	評価対象外	総合 戦略	
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各中学校に学校用務員、給食配膳員を配置。</li> <li>給食配膳業務として、給食の配膳、配膳室等の清掃を行う。 (衛生管理上、月2回の腸内細菌検査を実施)</li> <li>学校用務員業務として、校内環境の美化、文書の集配等を行う。</li> </ul>

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動 指標							
成果 指標							
事業費 計		千円	3,240	3,314	4,049	3,365	
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他				
			オ 一般	3,240	3,314	4,049	3,365

## H30年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 未設定 <b>【成果指標の状況】</b> 未設定 <b>【成果向上余地】</b> 未設定	
--------	--	--

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

# 小学校施設保守修繕事業

[268]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0506	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	(1) 学校施設(小学校) (2) 児童	<p>学校施設や設備を維持するために、修繕、法定点検その他必要と思われる保守点検、清掃等を実施して、快適な教育環境を維持する。 各施設、設備等の保守点検委託、清掃委託等の仕様が学校ごとに異なる業務については、市教委事務局にて一括で維持管理をしている。 施設修繕料の一部など、学校ごとに事情が異なる業務については、学校ごとに配当し管理している。 「施設管理事務の手引き」の策定 本事務事業における円滑かつ確実な履行の一助とするため、平成24年度中に策定した。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
安全で快適な教育環境が維持されている。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	市教委一括管理の保守点検等委託件数	件	30	31	26	26
	市教委一括管理の修繕発注件数	件	71	79	50	85
成果指標	小学校施設の不具合による教育支障件数	件	0	0	0	0
事業費 計			38,437	45,611	47,267	35,828
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	38,437	45,611	47,267

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	<p>老朽化の進む学校施設において、不具合件数について減少することはないが、公共施設等総合管理計画に基づいた適切な管理の実施により、教育支障件数を0件とすることができた。</p>
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	施設の管理については、公共施設等総合管理計画に基づき、適切に行います。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
施設の管理については、公共施設等総合管理計画に基づき、適切に実施した。			

# 小学校施設整備事業

## 事業の位置づけ

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0507	実施計画
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 教育行政課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	学校施設(小学校)	<p>施設・設備の新設、改修整備を行う。 箇所や施設については下記プロセスで選定する 維持管理上の老朽化等による改修必要性の確認 学校からの施設改修等の要望 要望事項について市教委による現場確認 整備計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校大規模改造等整備方針(校舎及び体育館等)の策定 平成23年度に、現在までの大規模改造計画、トイレ改修計画及び平成22年度に財政課(現:財産経営課)を中心に策定された公共施設修繕計画を統合・見直し、学校施設における新たな大規模改造計画を策定した。</li> <li>小中学校施設整備基準の策定 平成23年度に策定。 平成24年度に、学校施設整備検討委員からの質疑・要望に基づく修正を行った。</li> <li>小中学校普通教室空調設備整備 平成27年度に導入検討を実施、整備していくとの結論に至る。 平成30年度及び令和元年度に小学校の普通教室に空調設備を整備した。</li> <li>個別計画(長寿命化計画)の策定 校舎等耐久性調査、個別計画(長寿命化計画)の策定</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
	老朽化した施設が改修で、機能を維持している。 学校要望に基づき、教育施設の質的向上が図られている。	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	整備事業契約件数	件	8	7	11	12	
成果指標	小学校施設の不具合による教育支障件数	件	0	0	0	0	
	工事実施率	%	100	100	100	100	
指標・事業費	事業費 計		266,600	386,437	458,140	697,812	
	財源内訳	ア 国	千円	56,978	109,990	68,248	69,359
		イ 県					
		ウ 地方債		169,000	262,700	170,000	453,300
		エ その他		15,000			
		オ 一般		25,622	13,747	219,892	175,153

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	老朽化の進む学校施設において、不具合件数は減少することはないが、教育支障件数を継続して0件にすることができた。また、財政状況が厳しいため、危険回避や機能維持など当面の施設改修部分を優先しており、財源投入の理解が得られれば、学習環境の変化に対応する教育施設向上部分計画的に実施することができ、成果向上に繋がると考える。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	拡大
	<p>白鳳小学校大規模改造工事、普通教室空調設備工事、旭丘小学校トイレ改修工事を実施します。 施設の管理については、公共施設等総合管理計画に基づき、適切に行います。 施設の改修・修繕については、緊急性、重要性等を勘案し、全庁的に優先順位を付け、予算編成事務と合わせて事業実施の可否を判断します。</p>		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	<p>白鳳小学校大規模改造工事、普通教室空調設備整備工事、旭丘小学校トイレ改修工事を実施した。 施設の管理については、公共施設等総合管理計画に基づき、適切に実施した。 施設の改修・修繕については、緊急性、重要性等を勘案し、全庁的に優先順位を付け、予算編成事務と合わせて事業実施の可否を判断し、実施した。</p>		

# 小学校施設維持運営事業

[270]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0508	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	小学校	・学校施設の維持管理に係る予算を各学校に配当し、各学校の裁量による運営を適正に行つ。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
各小学校が必要に応じた予算のなかで安全かつ適正に運営されている。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	配当予算額	千円	77,868	77,793	80,123	79,729	
成果指標	流用又は増額補正をした件数	件	0	2	0	4	
事業費 計			80,064	78,122	84,132	84,633	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		3	111	6	21
		オ 一般		80,061	78,011	84,126	84,612

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(現状) 流用又は増額補正した件数のH29実績と比べ、2件増加している。 (原因) 普通教室に空調機が5校設置されたことによる光熱水費の増加対応による。
	【成果指標の状況】 低下	
	【成果向上余地】 余地が大きい	

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	施設の維持管理費の削減に取り組みます。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
普通教室に空調機が5校設置されたことにより、光熱水費が増加した。今後は4校設置及び天候により左右される部分が多いが、推移を見守り適正な使用を働きかける。			



# 中学校施設保守修繕事業

[271]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0509	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	(1) 学校施設(中学校) (2) 生徒	<p>学校施設や設備を維持するために、修繕、法定点検その他必要と思われる保守点検、清掃等を実施して、快適な教育環境を維持する。 各施設、設備等の保守点検委託、清掃委託等の仕様が学校ごとに異なる業務については、市教委事務局にて一括で維持管理をしている。 施設修繕料の一部など、各学校ごとに事情が異なる業務については、学校ごとに配当し管理している。 「施設管理事務の手引き」の策定 本事務事業における円滑かつ確実な履行の一助とするため、平成24年度中に策定した。</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
安全で快適な教育環境が維持されている。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	市教委一括管理の保守点検等委託件数	件	27	25	25	24	
	市教委一括管理の修繕発注件数	件	32	28	30	31	
成果指標	中学校施設の不具合による教育支障件数	件	0	0	0	0	
指標・事業費	事業費 計		16,452	20,699	22,207	15,092	
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他					
オ 一般		16,452	20,699	22,207	15,092		

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	<p>老朽化の進む学校施設において、不具合件数について減少することはないが、公共施設等総合管理計画に基づいた適切な管理の実施により、教育支障件数を0件とすることができた。</p>
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	施設の管理については、公共施設等総合管理計画に基づき、適切に行います。		
実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	施設の管理については、公共施設等総合管理計画に基づき、適切に実施した。		

# 中学校施設整備事業

[272]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0510	実施計画
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 教育行政課	

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	学校施設(中学校)	<p>施設・設備の新設、改修整備を行う。 箇所や施設については下記プロセスで選定する。 維持管理上の老朽化等による改修必要性の確認 学校からの施設改修等の要望 要望事項について市教委による現場確認</p> <p>整備計画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校大規模改造等整備方針(校舎及び体育館等)の策定 平成23年度中に、現在までの大規模改造計画、トイレ改修計画及び平成22年度に財政課(現:財産経営課)を中心に策定された公共施設修繕計画を統合・見直し、学校施設における新たな大規模改造計画を策定する。</li> <li>・小中学校施設整備基準の策定 平成23年度に策定。 平成24年度に学校施設整備検討委員からの質疑・要望に基づく修正を行う。</li> <li>・小中学校普通教室空調設備整備 平成27年度に導入検討を実施、整備していくとの結論に至る。 平成29年度に中学校の普通教室に空調設備を整備した。</li> <li>・個別計画(長寿命化計画)の策定 校舎等耐久性調査、個別計画(長寿命化計画)の策定</li> </ul>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>老朽化した施設が改修で、機能を維持している。 学校要望に基づき、教育施設の質的向上が図られている。</p>

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	整備事業契約件数	件	4	5	4	3	
成果指標	中学校施設の不具合による教育支障件数	件	0	0	0	0	
	工事実施率	%	100	100	100	100	
事業費 計			5,762	223,142	17,900	17,704	
財源内訳		ア 国		51,479			
		イ 県					
		ウ 地方債			155,800		
		エ その他					
		オ 一般	千円	5,762	15,863	17,900	17,704

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	老朽化の進む学校施設において、不具合件数は減少することはないが、教育支障件数を継続して0件にすることができた。また、財政状況が厳しいため、危険回避や機能維持など当面の施設改修部分を優先しており、財源投入の理解が得られれば、学習環境の変化に対応する教育施設向上部分計画的に実施することができ、成果向上に繋がると考える。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	旭中学校大規模改造工事設計を行います。 施設の管理については、公共施設等総合管理計画に基づき、適切に行います。		
実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	旭中学校大規模改造工事の設計を実施した。 施設の管理については、公共施設等総合管理計画に基づき、適切に実施した。		

# 中学校施設維持運営事業

[273]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0511	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	中学校	手段(事務事業の内容、やり方、手順)  ・学校施設の維持管理に係る予算を各学校に配当し、各学校の裁量による運営を適正に行つ。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)		
	各中学校が必要に応じた予算のなかで安全かつ適正に運営されている。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	配当予算額	千円	40,086	42,151	46,542	43,811	
成果指標	流用又は増額補正した件数	件	1	1	0	0	
事業費 計			40,982	42,884	45,495	44,449	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		23	15	19	21
		オ 一般		40,959	42,869	45,476	44,428

## H30年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 順調 <b>【成果指標の状況】</b> 向上(最高状態維持含む) <b>【成果向上余地】</b> 余地が小さい・なし	(状況) 流用又は増額補正した件数で、H29実績と比べ、変化なしでした。 (原因) 予算の範囲内での執行に努めたことによる。
--------	--	---

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	施設の維持管理費の削減に取り組みます。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
普通教室に空調機が設置されたことにより、光熱水費が増加した。今後天候により左右される部分が多いが、推移を見守り適正な使用を働きかける。			

# 小学校教材備品整備事業

[277]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0512	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	小学校、児童	各学校からの要望をとりまとめ、予算の範囲内で次の備品を各小学校に整備する。  理科教育等振興備品・・・教材備品のうち理科の学習に活用する備品(国庫補助あり) 毎年3校 H28渋川・本地原・三郷 H29白鳳・瑞鳳・旭丘 H30旭・東栄・城山 図書・・・学校図書館に整備する図書の購入 楽器・・・トランペット鼓隊の楽器の購入 毎年3校 H28渋川・瑞鳳・旭丘 H29旭・東栄・白鳳 H30本地原・城山・三郷
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	

児童が、学校生活を楽しく、一人一人に対応した教育を受けることができるよう、適切な備品が整備されている。

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	備品購入額	千円	7,131	7,085	7,140	7,109
	備品の購入数(図書を含まず)	個	81	46	200	93
成果指標						
事業費 計			7,131	7,085	7,140	7,109
指 標・事業費	財源内訳	ア 国	584	583	600	585
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	6,547	6,502	6,540	6,524

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	順調	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
	【成果向上余地】	
	未設定	

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 小学校校用備品整備事業

[278]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0513	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	小学校、児童	各学校からの要望をとりまとめ、予算の範囲内で次の備品を各小学校に整備する。 ・校用備品・・・教職員の利用する書架など ・学級等充実備品・・・児童・教職員用の机・いすなど
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	新JIS学習セットの購入を計画的に実施する。 (あいち森と緑づくり事業交付金事業) H23: 渋川小・本地原小 H24: 城山小 H25: 白鳳小・瑞鳳小 H26: 旭丘小・三郷小 H27~: 既導入校における不足分補充 (旭小、東栄小はH16年度に導入済)
	児童が、学校生活を楽しく、一人ひとりに対応した教育を受けることができるよう、適切な備品が整備されている。	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	備品購入額	千円	12,299	12,262	12,300	11,757	
	備品の購入数	個	653	612	1,000	701	
成果指標							
事業費 計			12,631	12,635	12,254	12,210	
指標・事業費	財源内訳	ア 国					
		イ 県	千円	1,772	1,487	2,230	1,966
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		10,859	11,148	10,024	10,244

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	
	【成果指標の状況】 未設定	
	【成果向上余地】 未設定	

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 中学校教材備品整備事業

[279]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0514	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	中学校、生徒	各学校からの要望をとりまとめ、予算の範囲内で次の備品を各中学校に整備する。  理科教育等振興備品・・・教材備品のうち理科の学習に活用する備品(国庫補助あり) 毎年1校 H28西 H29旭 H30東
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	図書・・・学校図書館に整備する図書の購入 楽器・・・ブラスバンドの楽器の購入 毎年1校 H28西 H29旭 H30東
	生徒が、学校生活を楽しく、一人一人に対応した教育を受けることができるよう、適切な備品が整備されている。	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	備品購入額	千円	3,816	4,137	3,900	4,274
	備品の購入数(図書を含まず)	個	14	32	60	33
成果指標						
事業費 計			3,816	4,137	4,300	4,274
財源内訳	ア 国	千円	448	437	450	423
	イ 県					
	ウ 地方債					
	エ その他					
	オ 一般		3,368	3,700	3,850	3,851

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	順調	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
【成果向上余地】		
未設定		

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 中学校校用備品整備事業

[280]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	22-0515	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	05	教育環境の整備	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	中学校、生徒	各学校からの要望をとりまとめ、予算の範囲内で次の備品を各中学校に整備する。 ・校用備品・・・教職員の利用する書架など ・学級等充実備品・・・児童・教職員用の机・いすなど
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	新JIS学習セットの購入を計画的に実施する。 (あいち森と緑づくり事業交付金事業) H23: 西中 H24: 東中 H25~: 既導入校における不足分補充
	生徒が、学校生活を楽しく、一人一人に対応した教育を受けることができるよう、適切な備品が整備されている。	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	備品購入額	千円	6,873	6,372	6,900	7,300	
	備品の購入数	個	257	279	500	278	
指標・事業費	事業費 計			6,989	6,508	7,560	7,459
	財源内訳	ア 国	千円				
		イ 県		274	258	1,000	776
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		6,715	6,250	6,560	6,683

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】	
	順調	
	【成果指標の状況】	
	未設定	
【成果向上余地】		
未設定		

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

# 教育委員会運営事業

[379]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	29-0901	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	教育委員会委員	根拠: 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(地教行法)の規定に基づく。 委員: 地教行法第3条及び4条の規定に基づき、人格が高潔で、教育、学術及び文化(以下単に「教育」という。)に関し識見を有するものうちから、地方公共団体の長が、議会の同意を得て、5名を任命する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	任期: 地教行法第5条の規定に基づき、4年とする。 会議: 尾張旭市教育委員会会議規則第6条の規定に基づき、教育委員会定例会(原則公開)を月1回開催、また必要に応じ臨時会を開催し、事務局から提出された議案等に対して、審議、議決等を行う。
	事務手続きが円滑になり教育委員の役割が十分に果たされ、委員会が円滑に運営されている。	

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	会議開催回数	回	12	12	13	12
	議案及び協議件数	件	28	35	40	25
成果指標						
事業費 計			2,426	2,250	2,439	2,274
財源内訳		ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	2,426	2,250	2,439

## H30年度実績の評価

成果実績評価	<b>【活動指標の状況】</b> 順調 <b>【成果指標の状況】</b> 未設定 <b>【成果向上余地】</b> 未設定	
--------	---	--

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-



# 教育委員会所管施設設計監理事業

[1001]

## 事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	29-0905	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

## 事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	営繕工事等の設計監理を必要とする市教育委員会所管の建築物(学校を除く)	設計業務:各施設担当課から中小規模の営繕工事等にかかる設計・積算業務依頼を受けたものについて、その主旨を確認した後、最善の方法(手法)で設計・積算を行う。 監理業務:各施設担当課から営繕工事等にかかる設計監理業務依頼を受けたものについて、現場状況を把握し、関係法令並びに契約書、設計図書、仕様書等に基づき工事が確実に施行されるよう、工事請負業者に対して指導監督を行う。なお、定められた工事価格以上の工事においては、工事完成後「尾張旭市工事成績評定要領」に基づき各考査項目について工事成績評定業務を行う。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
適切に設計及び監理を実施することで、市教育委員会所管の建築物の質を高め、施設利用者が安全かつ快適に利用できる施設となっている。		

## 活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	設計監理業務を実施した件数	件	8	12	5	11
成果指標	施設担当課から依頼を受けた設計監理業務を計画どおりに実行することができた件数の割合	%	100	100	100	100
事業費 計			1,199	1,080	1,200	1,059
指標・事業費	財源内訳	ア 国				
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	千円	1,199	1,080	1,200

## H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	施設担当課からの依頼に対し、設計監理業務を計画どおりに実行することができている。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	

## H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	施設の改修・修繕については、緊急性、重要性等を勘案し、全庁的に優先順位を付け、予算編成事務と合わせて事業実施の可否を判断します。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
施設の改修・修繕については、緊急性、重要性等を勘案し、全庁的に優先順位を付け、予算編成事務と合わせて事業実施の可否を判断した。			

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	99-0801	実施計画
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 教育行政課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	文書の收受・発送 軽易な庁内文書の処理(回覧・閲覧 綴込) 行政評価の管理 時間外勤務・出張命令書の整理(年12回) 年次休暇・出勤簿などの整理(作成 整理 提出) 課内の消耗品の調達・管理 財務会計事務(帳票作成 決裁 綴込) 予算・決算に関する事務 教育委員会事務局関係書類コピー・印刷・製本 単独公用車の管理 慶弔事務 県公立学校施設整備事業負担金の支出 教育委員会点検・評価に関する事務 尾張旭の教育編集に関する事務 教育研究室、適応指導教室との事務調整(学校教育庶務事務と統合) 学校連絡事務(学校教育庶務事務と統合)

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標						
成果指標						
事業費 計			1,126	987	1,652	1,470
財源内訳		ア 国				
		イ 県	9	9	9	9
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般	1,117	978	1,643	1,461

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定
--------	---

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定

事業の位置づけ

一般会計

政策	02	豊かな心と知性を育むまちづくり	事務事業コード	99-0803	実施計画	
施策	02	確かな学力を育む教育の推進	評価区分	評価対象外	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	教育委員会事務局 教育行政課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	非常勤嘱託職員で、次の業務を実施するために教育行政課と事務調整をする。 ・学習指導の調査及び研究に関すること ・教育相談に関すること ・教職員の研修に関すること ・教育関係資料の収集及び提供に関すること ・その他教育に関する調査及び研究に関すること

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標							
成果指標							
事業費 計		千円	67	182	174	159	
財源内訳			ア 国				
			イ 県				
			ウ 地方債				
			エ その他				
		オ 一般	67	182	174	159	

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 未設定 【成果指標の状況】 未設定 【成果向上余地】 未設定	
--------	---	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	未設定